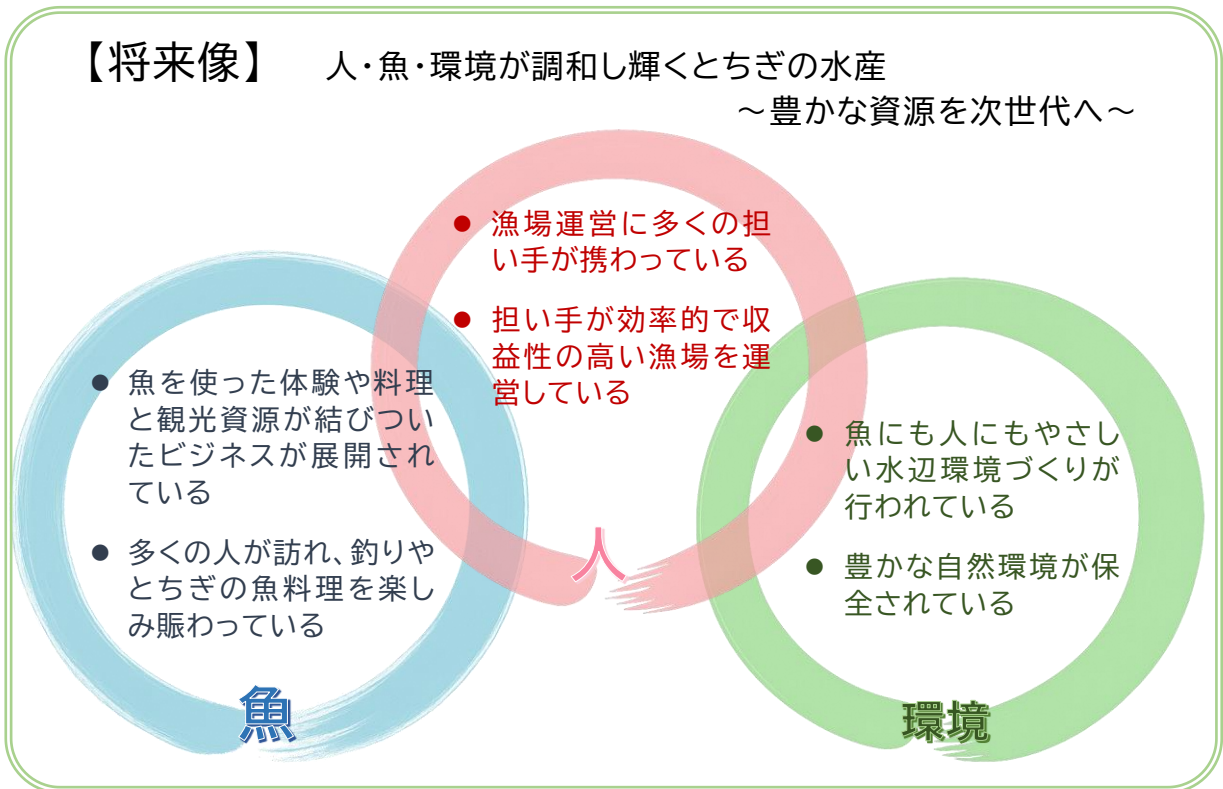


第3章 栃木の水産の将来像と施策

将来像の実現に向けて、今後5年間は「人・魚・環境」の3つを柱とした戦略に取り組み、計画の進み具合を確かめるため6つの成果指標を設けながら、漁協や養殖生産者、関係機関など多様な関係者との連携を深めて施策を進め、水産業の持続的な発展につなげていくことを目指す。

展開イメージ



【重点戦略】

水産の担い手確保・基盤強化戦略

漁協の担い手育成と組合員の確保

漁協等の運営体制強化

担い手支援を含む養殖生産者の経営基盤強化

水産資源の持続的利用の確保戦略

賑わいのある漁場づくり

放流技術の開発

魚類防疫の推進

養殖生産の低コスト・省力化の推進

養殖魚の高付加価値化

自然との共生戦略

気候変動への適応対策

カワウ・外来魚対策

多自然川づくり等の推進

希少魚類の保全